

平成24年度山形県青少年育成県民会議総会

5月29日(火)県庁・講堂

総会概要

明日の山形を担う若者たちが、心身ともに健やかに成長し、そして、社会の一員として自立的・主体的に行動することを願い、標記総会が開催されました。

本会議会員及び県内各市町村青少年育成関係者等150名が参加され、23年度事業報告及び24年度活動方針・事業計画案等が承認されました。総会終了後、日本こどもの安全教育総合研究所理事長の宮田美恵子氏を講師に迎え、「家庭や地域での安全安心教育」の講演がありました。

講演の概要を次に紹介します。

- 通学路に潜む様々な危険 ～犯罪・災害・交通～
- 子どもを取り巻く犯罪被害状況 ～全国調査から～
- 犯罪の基本原則 ～犯罪者・監視の空白・被害児童の3者遭遇～
- 「危険な場所」とはどこ？ 「不審者」とは誰？
- 地域でできる体験型安全教室の実際
- 家庭でできる安全教育・指導 ～親の責任と指導～

活動方針

- ①「大人が変われば子どもも変わる」県民運動の実践
 - ・あいさつ・見守り運動
 - ・モラル・マナーの向上運動
 - ・子どもを事故、犯罪等から守る運動
- ②「家庭の日」の普及啓発



登校時における地域の挨拶運動

- ③青少年「夢と創造へのアイデアコンテスト」事業
- ④明るいやまがた夏の安全県民運動 7/20～8/19
- ⑤山形の若者活動支援事業

事業と予算

1 県民会議運営事業	6,333,000円
2 県民運動総合推進事業	280,000円
3 地域社会環境づくり推進事業	1,097,000円
4 青少年育成広報啓発事業	1,420,000円
5 アイデアコンテスト事業	1,614,000円
6 若者活動支援事業	1,000,000円

「最上広域青少年指導センター」の活動紹介

新庄駅構内やゆめりあ、近くの公園、そして新庄市内のゲームセンターやカラオケ店などを巡回し、青少年の健全育成及び環境浄化活動を行っているグループを見かけたことがあると思います。その活動を行っている最上広域青少年指導センターを紹介させていただきます。

- 1 センターの設置：昭和61年4月、最上広域8市町村が設置。
- 2 基本方針：街頭指導等を行い、青少年の非行防止・環境浄化を推進する。
- 3 指導委員：現在127名（民間有志15名、8市町村指導委員65名、その他）
- 4 事務局：新庄市教育委員会内に置く。（7町村の教育委員会内に分室を置く。）
- 5 活動内容：
 - 早朝指導 7：00～ 8：00
 - 午後指導 16：00～18：00
 - 夜間指導 19：00～21：00 他に年3回の列車内指導

【24年度の街頭指導日誌より3点を抜粋】

- ①5月18日（月）早朝 雨

5時45分発山形行き列車へ乗り込む高校生は、25人くらいでした。こちらが挨拶すると、元気な返事が返ってきまし

た。また、7時過ぎ新庄駅に下車した生徒達は、返事がバラバラでしたが、服装はしっかりしていました。トイレなどは、タバコの吸い殻やゴミが無くきれいでした。

②6月18日（月）午後 曇り

中体連大会や運動会の代休ということで、中学生や高校生が多く見受けられた。各店内での生徒等の行動には特に問題はなく、声をかけると明るく返してきた。駅東のスポーツアや公園にも青少年が多くいたが、内外とも綺麗で印象が良かった。

③7月9日（月）夜間 晴れ

アビエスのトイレは、大変きれいでした。自転車置き場では、数台が乱雑に置かれており整理する。ヨークタウン、マックスバリュー、及び最上公園等においては、特に問題はありませんでした。

以前と違い、ゲームセンターを含めて全般的に、青少年の姿は少ないようです。



青少年指導センターの巡回風景